

# 広島交響楽団

Hiroshima Symphony Orchestra The 433rd Subscription Concert

## 第433回定期演奏会

2023.7.14(金) 18:45開演  
[17:45開場]

Friday July 14, 2023 Start 18:45 [Open 17:45]

広島文化学園HBGホール 広島市中区加古町3-3  
Hiroshima Bunka Gakuen HBG Hall

ラフマニノフ生誕150周年

ユース・シンフォニー ニ短調

Rachmaninoff: Youth Symphony in D minor

ピアノ協奏曲第1番嬰へ短調作品1

Rachmaninoff: Piano Concerto No.1 in F-sharp minor Op.1

交響的舞曲作品45

Rachmaninoff: Symphonic Dances Op.45



©B Ealovega

指揮:ジェームズ・フェデック  
Conductor: James Feddeck

ピアノ:リーズ・ドゥ・ラ・サール  
Piano: Lise de la Salle



©Stephane Gallois

チケット(税込/全席指定)

S席5,300円・A席4,800円・B席4,300円(学生1,500円)

※学生席は小学生以上25歳以下の学生が対象。要学生証。(広響事務局のみで取り扱い)

チケット発売日/2023年5月15日(月)

プレイガイド/

ローソンチケット(Lコード:61523)、チケットぴあ(Pコード:233-673)、広響事務局

主催/公益社団法人広島交響楽協会、中国新聞社



文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術等総合支援事業(創造団体支援))  
独立行政法人日本芸術文化振興会

公益財団法人 合人社財団

プレミアム協賛/ 中国電力

後援/広島県、広島市、広島市教育委員会、NHK広島放送局、中国放送、テレビ新広島、  
広島テレビ、広島ホームテレビ、広島エフエム放送、ちゅびCOM、月刊ウェンディ出版局

※やむを得ぬ事情により、出演者・曲目等を変更する場合がございます。  
※就学前のお子さまのご入場はご遠慮ください。  
※開演時間に遅れられた場合、入場に制限がございます。

お申し込み・お問い合わせ

広響事務局 TEL:082-532-3080 <http://hirokyo.or.jp>

広響公式HP



ラフマニノフの生誕150周年を記念して、初期のピアノ協奏曲第1番と晩年の交響的舞曲を繋ぐ。広響初共演となるアメリカの俊英ジェームズ・フェデックの指揮と、ピアノの妖精リーズ・ドゥ・ラ・サールを迎え、知性と情熱が相まみえる一会を。

### 指揮: ジェームズ・フェデック

Conductor: James Feddeck



©Terry Johnston

ニューヨークに生まれ、シカゴ・トリビューン紙から、「明らかに次代を担うであろう逸材」と称えられたジェームズ・フェデックは、これまでにクリーヴランド管弦楽団のアシスタント指揮者を務めるとともに、ショルティ指揮者賞、アスペン指揮者賞を受賞している。

2020年10月には、イタリアミラノのイ・ボメリッジ・ムジカーリ管弦楽団の首席指揮者に就任。22-23年シーズンにおけるミラノでのオーケストラとしてオペラでの活躍に加え、ベルギー国立管、リール国立管、ハーグ・レジデンティ管への再客演や、ウェールズBBC響へのデビューなどが予定されている。近年の活動として、ウィーン放送響、ベルリン・ドイツ響、BBC響、ストックホルム・フィル、ヘルシンキ・フィル、バーミンガム市響、ハレ響、フランス国立管、リヨン管、などのヨーロッパの主要なオーケストラへのデビューがあげられる他、北米では、すでにシカゴ響、クリーヴランド響、サンフランシスコ響、シアトル響、デトロイト響、ダラス響、トロント響、モントリオール響などと共演を果たしている。

数多くのレパートリーの中でもとりわけブルックナーの解釈には定評があり、サンフランシスコ響との第8番、ベルギー国立管との第5番でのツアー、バーミンガム市響との第6番や第9番など数多くの公演で絶賛を博している。

ジェームズ・フェデックはオルガン奏者としてもその才能を発揮しており、すでにヨーロッパ、北米でリサイタルを開催している。オーボエ、ピアノ、オルガン、指揮をオパーリン音楽院で学び、2010年には同音楽院として初めて、傑出した卒業生として賞を授与されている。

2017年の8月には、ベルリン・ドイツ響とドイツラジオ文化放送との協力によりドイツの新ロマン主義音楽を代表する一人であるゲオルク・シューマンの作品集で、世界初録音となる交響曲へ短調作品42含むデビューCDをリリース。

### ピアノ: リーズ・ドゥ・ラ・サール

Piano: Lise de la Salle



©Philippe Porter

フランスのシェルブール生まれ。4歳でピアノを始め、5年後には初のコンサート、その模様はラジオ・フランスで生放送された。その後、パリ国立高等音楽院に学び13歳でコンチェルト・デビュー、パリのルーヴルでリサイタル・デビューを果たす。バスカル・ネミロフスキ、ジュヌヴィエーヴ・ジョワ＝デュティエューにも師事。フランス、ドイツ等ヨーロッパ各地のコンクールで次々に1位を獲得、04年にはニューヨークのヤング・コンサート・アーティスト国際オーディションで優勝。同年、初の日本ツアーを行う。これまでに、ドレスデン・シュターツカペレ、ベルリン放送響、ミュンヘン・フィル、WDR響、ウィーン響、フランス国立管、パリ室内管、チューリヒ・トーンハレ管、スカラ・フィル、ロッテルダム・フィル、ロンドン響、フィルハーモニア管、シカゴ響、ボストン響、ロサンゼルス・フィル、サンクトペテルブルク・フィル等と、指揮者ではルイーゼ、マゼール、ヤノフスキ、ビシュコフ、ヴァンスカ、プロムシュテット、マリナー、パッパーノ、スダーン、フルシャ等と共演を重ねている。また、リサイタル、室内楽でも欧米アジア各地の主要な都市・コンサートホールから招かれている。ナイーブ・レーベル他より10代の頃から数々のCDをリリースしている。広島交響楽団には2013年以来、2度目の登場。

次回  
予告

## 第434回定期演奏会

2023.9.15 (金) 18:45開演  
[17:45開場] 広島文化学園HBGホール

J.C.バッハ シンフォニア変ロ長調作品18-2

J.C. Bach: Sinfonia in B-flat major Op.18-2

モーツァルト ヴァイオリン協奏曲第1番変ロ長調 K.207

Mozart: Violin Concerto No.1 in B-flat major K.207

ウォルトン(没後40年) 交響曲第1番変ロ短調

Walton: Symphony No.1 in B-flat minor



©Martin Richardson

指揮: 尾高忠明

Conductor: Tadaaki Otaka

ヴァイオリン: 中野りな  
(仙台国際音楽コンクール)  
2022 優勝

Violin: Rina Nakano



©Kiseki Michiko

あなただけの  
マイシート

2023年度

中期定期会員募集のご案内

9月~12月の  
定期 全3回

S席/13,300円 A席/12,100円 B席/10,900円

お申し込みは広響事務局までお電話ください。(受付期間2023年4月17日~2023年9月14日)